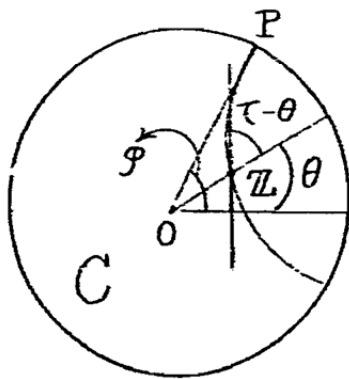


152. Poisson 積分ノ小兒的解釋

南雲 道夫 (阪大)

二次元 (平面) ノ調和函數ニ於ケル Poisson ノ積分ニ関スルーツノ初等的ナ解釋ヲ一寸思ヒツイタマ、申上ゲマス。アマリ平凡ナ事故、スデニ充分ヨク知ラレテキルコトカトモ思ヒマス。



C ヲ單位円, $Z = re^{i\theta}$ ヲ C 内ノ任意ノ一点, $P = e^{i\varphi}$ ヲ C 周上ノ任意ノ点トシ, P ニ於テ C ト直交スル円ガ C 円ノ半径 OZ ト交ハル角ヲ

$T - \theta$ トスレバ, P ノ位置ハ T ニヨ

ツテ決定サレル。ソコデ調和函數 $u(x, y)$ ガ C 周上デ取ル値ヲ T ノ函數トシテ $U(T)$ デ表ハセバ [$Z = x + iy$ トス]

$$(1) \quad u(x, y) = \frac{1}{2\pi} \int_0^{2\pi} U(T) dT.$$

何トナレバ調和函數ハ等角寫像ニヨツテ不変デアルカラ、特ニ

$$w = \frac{z - Z}{Zz - 1}$$

ナル円ノ對應ニヨツテ Z ヲ円ノ中心ニ移セバ (T ハ不変),

(1)ハ円周上ノ値ノ平均値ガソノ中心ニ於ケル値ニ等シイコトヲ示スカラデアル。

所が $z = e^{i\varphi}$, $w = e^{i\tau}$ トスレバ,

$$d\tau = |dw| = \frac{|1 - z\bar{z}|}{|\bar{z}z - 1|^2} |dz|$$

$$= \frac{1 - r^2}{1 - 2r \cos(\varphi - \theta) + r^2} d\varphi.$$

カクシテ次ノ Poisson ノ積ルヲ得ル。

$$u(x, y) = \frac{1}{2\pi} \int_0^{2\pi} \frac{1 - r^2}{1 - 2r \cos(\varphi - \theta) + r^2} d\varphi$$

上ト類似ノ考ヘ方ヲ3次元ノ調和函数ノ球面ニ関スル積ル公式ニモ應用出來ルダラウト思ヒマス。

扱テ上ノ考ヘデハ調和函数ニ関スル基本的性質トシテ、円周上ノ平均値ガソノ中心ニ於ケル値ニ等シイコトヲ假定シテキマス。次ニ我々ハ(1)ナル形ニ表ハサレル函数ガ調和函数デアツテソレガ円周ニ與ヘラレタル値 $U(\tau)$ ニ一致スルコトヲ示シマセウ。 $u(x, y)$ ガ C 内ニテ連続ガ C ノ周上ノ一点ニ近ヅクトキ、 $u(x, y)$ ガ $U(\tau)$ ニ近ヅクコトハ初等的ニ容易ニ証明出來マスカラ、只 $u(x, y)$ ガ C 内ニテ harmonic ナコトダケヲ証明シマセウ。ソレニハ $P = e^{i\varphi}$ ヲ一定トスル時、 τ ガ (x, y) ノ函数トシテ $[z = x + iy]$ harmonic ナコトヲ証明スレバヨイ。所が

$$w = \frac{z - \bar{z}}{\bar{z}z - 1}$$

デ $z = e^{i\theta}$, $w = e^{i\tau}$ トスレバ

$$i\tau = \log w = \log(e^{i\theta} - \mathbb{Z}) - \log(e^{i\theta}\overline{\mathbb{Z}} - 1).$$

上ノ右辺ハ $f_1(\mathbb{Z}) + f_2(\overline{\mathbb{Z}})$ ナル形ヲ有スル。但シ $f_1(z)$ ハ
 z ノ解析函数デ C 内デ一價正則デアアル。シカラバ $f_1(\mathbb{Z})$ 及ビ
 $f_2(\overline{\mathbb{Z}})$ ノ各虚数部分ハ調和函数デアアル [(x, y) ヲ ($x, -y$) =
 カヘテモ調和函数デアアル] が故ニテ (x, y) ハ調和函数デアアル。
 (証明了)